

「坂城町における刀匠の技術と工業技術」

講師 坂城町鉄の展示館学芸員 時信武史 氏

2023年10月7日、坂城町鉄の展示館の隣の坂城町中心市街地コミュニティセンターにおいて東信 CPD 研修会を行いました。講演の標題は「坂城町における刀匠の技術と工業技術」でした。講演と刀の鑑賞と鍛刀道場を13:00から16:00まで行いました。参加者は会員14名、協賛団体7名、一般2名、講師1名の23名でした。

坂城町中心市街地コミュニティセンターの多目的ホールで講演を聴きました。

(1) 坂城町の鍛刀道場

- ① 人間国宝の刀匠の宮入行平(1913年～1977年)さんの仕事
- ② 江戸時代末期頃から現在までの宮入家
- ③ 鍛刀道場の今の当主の宮入小左衛門行平の仕事

(2) 刀の作り方

- ① 原料は玉鋼。
- ② 玉鋼から炭素含有の少ない粘りのある部分と炭素含有の多い硬い部分を分別する。
- ③ 粘りのある部分と硬い部分を別々に折り返し鍛錬する
- ④ 硬い部分2つで粘りのある部分を挟んでつなぎ合わせ刀にする。形を整えて焼き入れする。

(3) 刀の鑑賞

- ① 5振りの刀を見せてもらって順番に触らせてもらった
- ② 刃文の見方を教えてもらった。

徒歩で5分ほど移動して宮入鍛刀道場に行って当主の宮入小左衛門行平さんから説明していただきました。

- ① 玉鋼、折り返し鍛錬の途中の板片、板片のかけらを合体するために集めた塊、だんだん刀らしくなっていく数本の棒の実物を見ながらの説明。
- ② 赤い火になっている炭の炉と轆の実物を見ながらの説明
- ③ 鑿や鉋の鍛冶職に比べて形が単純で種類も少ない箸のような道具。
- ④ 思いのほか広い刀鍛冶の作業場。



写真1：時信武史氏からの講演風景



写真2：刀の鑑賞状況



写真3：宮入小左衛門行平氏からの説明